



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

会長 江原伸夫 会長エレクト 渡邊高治 副会長 沼崎正徳 幹事 小島美恵子

事務所 〒350-1305 狹山市入間川1-24-48

T E L: 04-2952-2277 F A X: 04-2952-2366

E - m a i l: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp H P: <https://www.schuohrc.org>

例会場 ニックス 〒350-1305 狹山市入間川4-25-3 TEL: 04-2954-9595



[第3グループ 例会日: 入間④ 所沢⑤ 飯能⑥ 新所沢⑦ 日高⑧ 所沢西⑨ 新狭山⑩ 所沢東⑪ 入間南⑫ 狹山中央⑬]

第1418回 (10月10日) 例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
斎 唱 四つのテスト
第2副S A A 小田会員 柴田会員
出席報告 出席向上委員会 若松泰誼委員長

会員数	出席者数	出席率
19名	17名	89.47 %

本日のお客様	沼崎正徳副会長
西武学園文理小学・中学・高等学校校長	マルケス・ペドロ 様
学校法人文理佐藤学園スポーツ推進局局長	伊藤 邦義 様

会長の時間

江原 伸夫 会長



こんにちは。

本日は西武学園文理中学・高等学校、校長マルケス・ペドロ様にお越しいただいております。お忙しい中、外来卓話をお引き受け下さいましてありがとうございます。後程のお話しを楽しみしております。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

近い将来の発生が懸念されている南海トラフ巨大地震ですが、今後30年以内に起こる確率について、政府の地震調査委員会は、先月末にこれまで80%程度していたものを60~90%程度以上に訂正しました。

今年3月に発表された想定では、埼玉県は広い範囲で震度5弱、県南部では5強の揺れが予想されています。また周期的な観点から予想すると、首都直下型地震の方が南海トラフ巨大地震よりも発生率は高いとも言われています。

近年では富士山の噴火に備えた対策が検討されたり、温暖化による異常気象が生じたりと、日常生活に支障をきたす瞬間が、いつ起きても不思議ではない状況になっていると感じています。

そうした災害に不幸にして遭遇したときに、各家庭及び個人が今から備えておく防災グッズの必要性を感じています。

持ち歩き用・避難用(非常持ち出し袋)・備蓄用(自宅避難用)の3つに分けて準備しておくことが重要だと言われています。

我が家ではまだ、本当に必要と言われているそれらの防災グッズの全てを備えているわけではありませんが、簡易トイレ・保存期間の長い食料品や水・ガスボンベ・懐中電灯・防寒具等々、多少は用意をしています。幸いなことに今までそれらを実際に使用する機会がなかったのですが、先週土曜日にそれらのうち何点かを試してみる機会が訪れたのです。当然ですが、

災害にあったわけではありません。数週間前に下水管の損傷が見つかり、先週土曜日にその修理のための工事が入りました。(工事の始まる時間や終了予定時間など) 予定に対しての確認や準備不足もあり、そのために関係者の方から説明を伺ったあとで、午前中一杯水回りの使用ができないことを知りました。家を空けることもできないため、この機に今まで使用したことのなかった防災グッズを3点ほど使用してみました。



5年保存水は、そのままでも沸かしても美味しく飲めました。食事は、コンビニのおにぎりと同じように、ハサミを使わず手だけで対処できるアルファ米の携帯おにぎりを食べてみました。味は不味くはなかったのですが、なぜかパサパサ感もありましたので袋の裏を見ましたら、残念なことに賞味期限が過ぎていました。補充する際、特に飲食物は定期的に賞味期限を確認するようにしようと心に決めました。そして簡易トイレも使用してみました。詳細は省かせていただきますが、私が使用したものは、バケツなどでも利用でき、使用時や使用後の処理などもよく考えられていて、非常時には必要不可欠のものであることを実感できました。因みに、人目から体を隠したい時、簡単に隠せる透けないポンチョ付きのものもあるようです。いざという時にすぐに動けるように、防災グッズの点検だけでなく、普段から物の置き場所などの確認に努めようと思った先週の土曜日でした。

幹事報告

く 小島美恵子 幹事 く

報 告

・理事会で11・12月のプログラムが承認

・11月15～16日の親睦旅行について

本日例会終了後、株ワールドプランニングオフィスの関様より親睦旅行の説明がありますので、旅行に参加される方は、このまま残って説明を受けてください。

・フリマ値付け作業について

本日例会終了後、事務局でフリーマーケットの値付け作業を行いますので、ご協力を願いいたします。

尚、親睦旅行参加者は、旅行説明が終り次第事務局に来てお手伝いをお願いいたします。

会長・幹事 狹山市長訪問

10月7日(火)、新狭山RCの会長・幹事と一緒に狭山市長を訪問し、推戴状をお渡ししました。



委員会報告

■ 尚寿会グループフリーマーケットについて
寶積英彦会員(医療法人尚寿会理事長)より

10月18日(土)の「尚寿会グループフリーマーケット」にご協力いただき心より感謝しております。今年は150もの出店が予定されておりますが、私達狭山中央RCの出店場所は、江原会長の「むつみ薬局」の前で、一昨年と同じ、屋根のある、荷物の運び易い、VIPな場所です。尚、会場に車でいらっしゃる方も多いと思いますが、江原会長のご協力により「むつみ薬局」にも停めさせていただけることになりましたので、そちらもご利用ください。場所がわからない方は、江原会長に直接聞いてください。開催終了時間は例年より30分早い13:30です。また、その後15:30から「花もも」で盛大な打ち上げ会があります。皆様、当日はどうぞよろしくお願ひいたします。

■ R情報・雑誌委員会 < 高田虎光 委員長 >

【縦組み】



【縦組み】



SPEECH

シウマの街 鹿沼 P2-6
にっぽんふうど

五十三次つまみ食い P11

卓 話

西武学園文理小学・中学・高等学校

校長 マルケス・ペドロ様



デジタル社会・AI時代の学校作り



デジタル・国際社会で活躍する人間を育てる教育とは

自己紹介

異端な校長先生 (モンスター)

日々の制服は、日本サッカー代表のジャージ、背番号は10番

文理学園を中心に、日本で教育制度の改革を進めている

小6から日本語を勉強

日本在住15年

家族は、3歳の息子レオ君、2歳の娘リアちゃん、そしてとても厳しい日本人の妻なっちゃん

本業はパパ

教育改革はあくまでも趣味

お給料もらわないとなっちゃんから昇龍拳を食らうので仕事をしている

日本の教育の世界(小学校・高校・大学の教師)に15年間程携わってまいりましたが、ずっと変だなあと思っていたことがありました。

部外者・外国人ということで声には出せませんでした。もちろん行動にも…。

しかし、モンスターになりました。それは、自分の息子、娘が生まれたからです。

学園改革

当学園は、創立40年の歴史を持つ「東大に行かせる」という方針の進学校でしたが、創立者の高齢化と時代の変化への不適合から、過去10年間は定員割れと赤字が続き、廃校寸前の状態になりました。しかし、2代目の理事長により、「どうせ潰れるなら改革しよう！」と、私マルケスが校長に任命されたのです。

本日は高校に絞ってお話ししますが、校長就任1年目で、生徒200人、2年目には400人増加。

現在、高校の志願者数は定員の2倍から2.5倍に達しています。単独キャンパスの学校としては、埼玉県で最も人気のある学校（志願者数1位）となりました。



その1 ガチプロジェクト

学校運営そのものを生徒主体のプロジェクトに転換した取り組みです。

これまで外部業者に委託していたウェブサイト制作・パンフレット作成・放課後の学習センターの運営などを、専門家である大人がメンターとし

てサポートしながら、生徒たちが実践的に行いました。その結果、外部業者に委託していた時よりも質の高いものが生まれました。生徒にとって、

“本物の勝負”に取り組めることは非常に大きな価値があり、実践的な経験を積み、それを大学受験や就職活動の実績にできるのです。

“本物の勝負”的ことを“ガチ”と名付けたこのプロジェクトが、学校が「バズっている」最大の理由です。



その2 多様なクラス編成の導入

従来の進学クラスを強化するだけでなく、新たに「スポーツクラス」「アートクラス」「クリエイティブクラス」を設立し、生徒の多様なニーズに応えるクラス編成を実現しました。

特にクリエイティブクラスは、カリキュラム、授業、試験が一切ない、大学院のように生徒自身が研究テーマを決めて深めていく、探究学習のみを行う異端なクラスです。

当初、クリエイティブクラスには勉強が苦手な生徒が集まる懸念がありましたが、実際には平均偏差値が70以上の生徒が集まる、最も学力の高いクラスになっています。



その3 教員の働き方改革

優秀な教員を惹きつけるため、労働環境の大幅な改革を実施しました。

- ・ タイムカードによる時間管理制度を廃止し、出退勤時間を問わない「フレックスタイム制」を導入

生徒と向き合う時間の質を重視

- ・ 全教職員に有料AIツールを導入し、業務の効率化を図り、仕事量を約半分に削減
- ・ 教員の副業を許可する「副業制度」を導入

旧来の時間管理型から、成果と質を重視する柔軟な働き方へと転換した結果、昨年度は定員380人に対し730人の生徒が入学し、新たに25人の教員を採用。その採用規模は埼玉県でも随一となりました。



その4 偏差値教育の課題とデジタル社会

経済高成長の産業時代において偏差値教育は有効な教育制度でした。しかし、子どもが減少している現代に、従来の偏差値教育はもはや有効ではありません。子ども一人一人を大切にする教育制度が必要なのです。

教育の専門家として見るに、オンライン化による孤独社会、文化・価値観が違う外国人と共存するグローバルな時代になった今、教育制度を変えればこの国の未来は明るい、逆に偏差値制度のままなら潰れる…。そう考えます。

現代の若者（デジタルネイティブ）と旧世代（アナログネイティブ）の価値観のギャップが、教育現場における深刻な問題となっています。

若者にとって、デジタル空間は現実と同じ重みを持つ「社会」です。一方、大人（アナログネイティブ）は、デジタル社会をツールとしてしか見ないため、世代間に価値観のギャップが生まれています。このギャップが、生徒が学校・授業を嫌う根本的な原因の一つになっているのです。

デジタルネイティブの視点から見ると、一方的な講義スタイルの授業（知識伝達型）は、情報を高速に得られるデジタル社会に比べて非常に非効率に映ります。

若者にとって、デジタル空間は単なる「ツール」ではなく、友人関係、恋愛、経済活動まで行う「社会」そのもの。しかし、学校や大人はこのデジタル社会を無視・軽視しがちで、その価値観のギャップが、生徒が学校を嫌う一因となっています。

生徒たちは旧来の講義型授業を「遅い」「非効率」と感じ、大人を理解できない存在と見なします。そして、携帯、SNS、AIの使用が制限されることに強い不満を抱いています。彼らにとってデジタル社会は「早い、楽しい、楽」であり、変化が遅く努力が必要な「生の社会」とは対照的です。

大人の指導者がいないデジタル社会は「無法地帯」です。生の社会でしか得られないことは山ほどあるのですが、子どもたちはそれを受け入れようとしません。



その5 通信教育の台頭と若者の意識調査データ

学校教育への不信感から、通信教育を選択する高校生が急増しています。

現在、約3万人が在籍し、過去3年間で年10%ずつ増加。このままいくと、5年以内に日本の高校生の半数が通信教育になる可能性があります。

また、各種調査で、日本の若者の自己肯定感や将来への希望が諸外国に比べて著しく低いことが示されています。内閣府の調査では、自分に満足している若者は諸外国の8割に対し、日本は半分以下。2年前の日本財団の調査（先進10カ国、約2万人の小中高生対象）では、「自分の未来を変えられるか」など、全10項目で日本が最下位でした。日本の若者は「夢を見ない」「自分が好きじゃない」「未来は暗い」と考えています。

この問題は、現行の教育システムが子供たちに与えている影響の結果です。



その6 非認知能力の育成

認知能力（左脳：理性など）は教えられるのに対し、非認知能力（右脳：感性・判断力・想像力など）は経験によってのみ獲得されます。その発達には失敗と成功の体験を重ねることが不可欠です。

当学園では、放課後や土曜日に「ガチプロジェクト」を実施しています。生徒たちが失敗と成功を多く経験できる環境を作ることで非認知能力を育成する。これは、教えられる「理解の世界」である認知能力とは異なり、「経験することでしか得られない世界」であるためなのです。



その7 生徒プロジェクト

校則:

生徒たちがプロジェクトで決める

例)「品があること、清潔であること」の2行のみ制限

生徒がデザイナーと一緒に開発する

公式イベント:学校説明会のような公式イベントも、企画から運営まで全て生徒が行う

すべてを生徒が考え、指摘し合い、判断します。失敗もするし成功もしますが、それを繰り返しながら判断の練習をしていきます。

コミュニティの中に所属して専門性を身に付けながら本物の勝負に取り組むのです。



その8 デジタル時代における学校の新しい役割

知識の習得がオンラインで可能になった現代において、学校は、デジタルでは提供できない価値、すなわち、現実の出会い・協働を通じた自己変革、本物の課題への挑戦の機会を提供しなければなりません。

単なる勉強だけなら、ネットやデジタルの方が優れています。学校は、学校に来ることでしかできないことに焦点を当てるべきです。「学校に来ることで誰に会えるのか」「学校に来た自分がどう変わるか」といったことが重要になるのです。

ガチプロジェクト

ハロウィンイベントのお知らせ

—文化祭とは異なる実社会と連携したイベント—

学校関係者、外部の専門家、生徒からなるこの「ガチプロジェクト」は、狭山市の活性化を目的とし、生徒が企画・運営する大規模な地域のお祭です。

- このチラシもグラフィックデザインプロジェクトの生徒が作りました。
- 狭山市の公立学校（小・中・高校）に、「ハロウィン公式キャラクター」の募集をしたところ、多くのエントリーがありました。
- アトラクションのシューティングゲームも、プログラミングプロジェクトの生徒が作りました。
- 商品開発のプロジェクトがオリジナルランタンを作製して、そのランタンを持ってお化け屋敷に行けるようにしました。
- とにかく、子どもたちの発想はすごいのです！



- イベントの予算のほとんどは学校が負担します。「市のためになることは学校のためになるマーケティングだ！」と理事会で理事たちを説得して予算を確保しました。
- 出店する屋台はすべて狭山市内の商店で、その利益は100%そのお店のものになります。利益をすべて還元することで、地域経済に直接貢献し、コミュニティとの連携を深めます。

ブラジルやアメリカのハロウィンは子どものお祭りです。お菓子を食べて、仮装して、家族や友だちと一緒に学校に行って…。と、子どものための日なのです。

私は、このハロウィン祭りを、『狭山市と言ったらハロウィン祭り！』というレベルまで持っていくたいと考えています。

ニコニコボックス

く 田端都女子 副SAA >

江原会員

西武学園文理小学・中学・高等学校校長のマルケス・ペドロ様、学校法人文理佐藤学園スポーツ推進局長 伊藤邦義様、お忙しいなか、本日の卓話をお引き受けください、本当にありがとうございます。後程のお話しを楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

小島会員

西武学園文理小・中・高等学校校長 マルケス・ペドロ様、スポーツ推進局長 伊藤邦義様、お忙しい中ようこそおいでいただきました。本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。

寶積会員

西武学園文理小学・中学・高等学校校長 マルケス・ペドロ先生、本日は御多用の中ようこそおいで下さいました。私、長男は小中高と12年間、長女は小中と9年間お世話になりました。すばらしい学校でした。本日はどうもありがとうございました。

稻見会員

西武学園文理小学・中学・高等学校校長マルケス・ペドロ様、ようこそおいで下さいました。今日のお話楽しみです。

小林会員

きんもくせいの香りが漂って参りました。高い空に今日はまさに秋を感じましたね。本日は西武文理の先生方、ようこそお越し下さいました。お待ち致しております。

清水(武)会員

西武学園文理小学・中学・高校校長のマルケス・ペドロ様、卓話楽しみにしています。

田端会員

西武学園文理小学・中学・高校校長 マルケス・ペドロ様、そしてスポーツ推進局長 伊藤邦義様、本日ようこそ狭山中央RCにお越し頂きありがとうございます。ハロウィンイベント楽しみにしております。

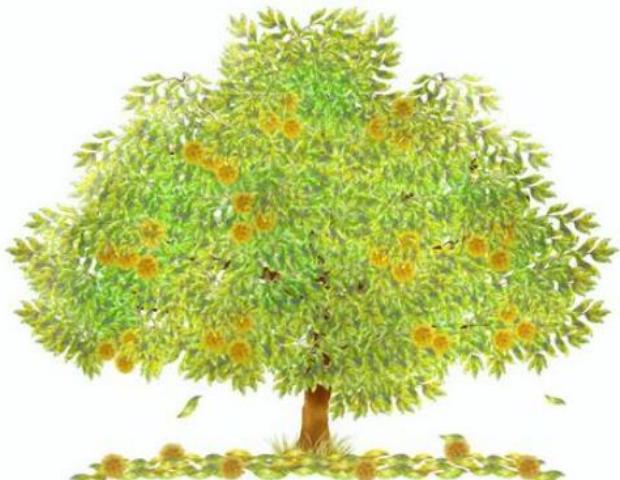
若松会員

本日の卓話、マルケス校長の話を楽しみにしていました。宜しくお願ひ致します。

渡邊会員

西武学園文理中学・高等学校校長 マルケス・ペドロ様、スポーツ推進局長 伊藤邦義様、お忙しい中、狭山中央RCにお越し頂き誠に有難うございます。本日はどの様なお話しが伺えるか楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

次回例会予定



10月 24日(金) 例会取り止め

10月 31日(金) 例会取り止め

11月 7日(金) 通常例会

第2福 SAA: 清水(武)会員

清水(幸)会員

イニシエーショ
ンスピーチ: 小田美津子会員



❖ 本日の例会終了後、株式会社ワールドプランニングオフィス 関様に、親睦旅行の詳細を説明していただきました。